

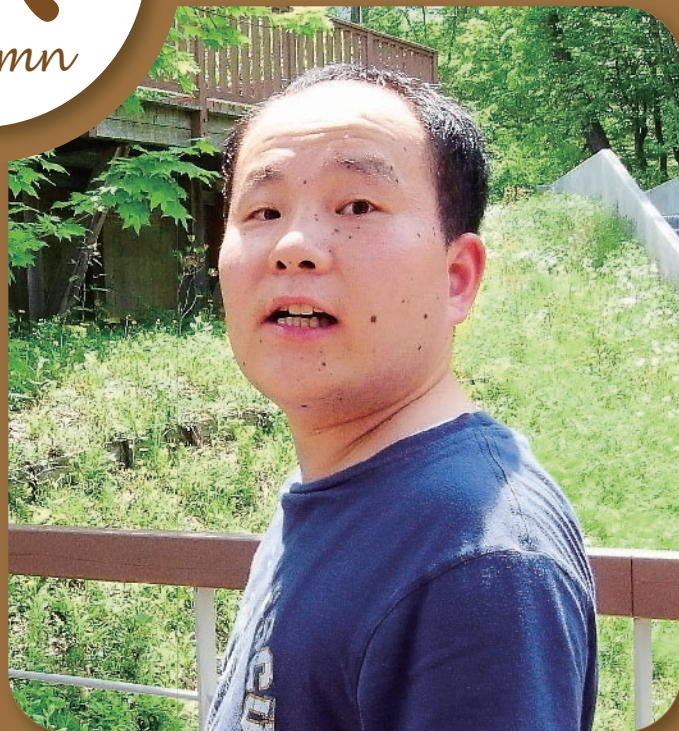


# かりがね

NO.354 [季刊]かりがね  
発行人 ● 社会福祉法人かりがね福祉会

## 秋

Autumn



風の工房の皆さんはいつも頑張ってアート活動etc  
していらっしゃいます。  
毎日の頑張りを労うために、高原に行きました。



## ライフステージかりがね 第2期工事も順調に進行中!

猛暑の中、基礎工事には複数の重機が動員されました。

事務所や厨房を含む第2期工事の内容は、より大規模なものとなります。

私たちの期待を担って、今日も巨大な機械と現場スタッフの皆さんが、建設作業を進めてくださっています。

そして、台風とともにやってきた涼風は、軒先のツバメの巣立ちをせかしているようでもあります。12月の完成が、待ち遠しい日々です。



### 一筆 啓上

#### 看取りの支援に携わる

誤嚥（ごえん）性肺炎―飲み込みが悪かったり咳をする力が弱かったりして、口の中の細菌や逆流した胃液が肺に入ったために起こる肺炎―で入院したTさんは、服薬で熱が下がり口から食物を摂るようになりました。しかし、再び誤嚥で肺炎になってしまいました。幾度かそれを繰り返すため、医師より胃ろう（胃に穴を開け栄養を入れる方法）を勧められ手術を受けました。けれども、この方法も発熱のため胃ろうが働かず、点滴だけで命を保持する状態になりました▼医師からの説明では、選択肢は二つです。一つは、中心静脈栄養という大静脈のところで栄養液を補給する方法です。病院（療養型病床）で過ごすという選択肢です。もう一つは、ライフステージかりがねで点滴を続けながら過ごすという選択肢です。どちらを選んでも課題は大きいですが、選択は二つです▼人間にとって、必ず起こることがあります。それは、誰

でも「死」を迎えるということ、そして、今の人生はたった二度だけということ。だから、生きることを大切にし真剣に考える必要があります。人は人との間にあって人間となります。人は独りでは生きられません。人は孤独を感じると辛くて切なくなります。どんな状況にあっても、ひとりぼっちではないことを感じていることが必要です。安心できる慣れ親しんだ人たちの中にあること―これまでの生活の継続が大事です▼点滴だけでの命の保持は「死」と隣合わせです。「看取り」の支援です。私たちかりがね福祉会は、Tさんの看取りを支援していくことを決めました。看取りは様々な人や機関の協力が不可欠です。現場の支援員、看護師、医師、ご家族、その他にも宗教家やボランティアなども必要になってくると考えられます。先人の叡智からも学びながら、尊厳のある看取り支援に携わらせていただきます。（あ）



## 想 い

(株)莫設計同人  
代表取締役 松村 正希

ライフステージかりがねは、『人が生きる』とはどういう事なのかという理念の中で、

- 1、命の大切さ。
  - 2、人権を守る。
  - 3、障害がどんなに重くても発達し、豊かになり、自立しようとする。
  - 4、ここで暮らして安心である。
- という設計の基本方針を打ち出した。

### 大切な食べる環境

このことを実現するひとつに、食環境が大切であると考える。

「食べる」ことは「生きていく」ための源である。

「食べること」と「排泄」「睡眠」を豊かに保障することが①身体的・精神的側面での改善→②生活向上心の発生→③働く意欲や役割の発生→④集団意識の発生→⑤自治意識の発生といった人間としての発達に働きかける重要な基盤になりうると思われる。しかも、食事は誰もが持っている触覚、視覚、嗅覚、聴覚、味覚を刺激するのに最適な環境である。また、一緒に食べることでコミュニケーションが生まれ、皆と仲間だという意識が芽生え、面白かったことや嬉しかったこと、悲しかったこと等を共有しお互いの親密さと絆を確認しあう場となり、共感や接点が生まれる。

適切な食事の摂取は生命の質を向上し、生活の質を左右するといっても過言ではない。

食欲と意欲は根底のところにつながっている。食欲がわからないということは、意欲がわからないということの意味し、自分のまわりの環境に対して心が輝かない。それは生きていく力そのものがすこしずつ減少している状態であると考えられる。

ここで暮らす人たちが、永い人生を歩んでいく生活行為の中で切り離すことが出来ない「食」との関わりが、障害者支援の最先端であると思っている。

### 生活を支える家

さらに、支援のもうひとつに『生活を支える「家」』という視点を重要視した。

その「生活」の意味を考えてみると、生活の「生」は、食べる・寝る・排泄する・入浴・買い物・遊ぶ・・・等と、「活」は仕事があり、役割がある。いろんな活動や社会に関わる事・・・等である。このふたつのことをいつも行うことであると考えている。

しかし、「食べる・寝る・排泄する」のどれかひとつでも調整がうまくいかなかった時、それは人の「死」に繋がることを忘れてはならない。

秘めている力を活かし、喜びと達成感のある暮らしは自己決定を生み出し、自分の思いや意思が大切にされる暮らしは、自分らしさや誇りを保った暮らしを支えると考えている。

### まとめ

人は生活を支えている生理的欲求が無くなると人生をあきらめ、生きる意欲を無くし、気力が失せてしまう。それと同時に生命力が衰えるとおもわれる。このことをなくすためにも普段の生活を築いているさまざまな事に意識的に関わってもらう環境が大切である。

家庭的な環境に置かれ、日常生活のことは出来るだけ自分で言い、それなりの役割があり、友だちや職員そして家族や地域の中で認められるそんな暮らしがあれば人は「元気」になるのではないだろうか。

ここでの生活は、「心豊かに自分らしく楽しく生きる」ことである。

自宅でもない施設でもない安心して暮らせる『もうひとつのわが家』です。

かけがえのない生命の一つひとつが、安らかでいられるように、そして輝き続けることができるようにと私は願っています。

## 改築プロジェクトメンバーとして ～改築へのおもい～

職員  
工藤 淳

ライフステージかりがねの改築が決まった時、利用者さんや職員はもちろん利用者さんのご家族、理事や評議員の方そして設計士とで何回かにわけてグループワークや討議を行った。開所から30年を超えた現在、今後のライフステージかりがねをどのようにしていくのか。かりがね福祉会を立ち上げに関わった方たちは今のかりがね福祉会を想像していただろうか？30年後どうなっているかはわからないが、少なくとも10年後は見据えていきたい。ある利用者の方は「温泉みたいだからでっかい風呂がいい」またある利用者の方は「いつでもゆっくりと1人ではいれるお風呂がいい」と言っていた。言葉のない利用者さんのご家族や、役員の方からも貴重な意見がいただけた。職員の意見も重要だ。職員が利用者さんを支援しやすい環境でないと利用者さんに「安心と安全」は提供できない。よいものをつくるにはお金がかかる。予算との折り合い、いいかえるとどこを優先させてどこで妥協するのか。

かりがね福祉会に関わる方全体で議論や討論を重ねた、新しいライフステージかりがねの建物がもうすぐ完成する。



この町、どの町  
どこへ行こう?

O・DE・KA・KE

探検隊!

第9回

私たちケアホームの仲間がお散歩している場所は真田地域ではありません。もっと遠くへ、もっと面白い場所を求めて、私たちはみんなも知っているあの有名な場所で散歩しています。今回はその様子を紹介したいと思います。

## 今回は上田城を特集しました!

上田城公園は広くて平らでお散歩するにはもってこいの場所です。散歩していると地域の人たちが元気にあいさつをしてきてくれるからとっても嬉しいです。春は桜がとてもきれいです。夏は暑いから散歩の途中でプールに入って遊んだりもしているよ。上田城公園をお散歩していると私たちに会えるかもね。



上田城は1583年(天正11年)真田 昌幸により築城されたんだよ。徳川軍の攻撃を二度も退けた上田城合戦が行われたことで有名なんだって。現在では敷地内に広い公園や美術館、市営球場、プールなどがあるよ。春には有名な千本桜でにぎわっているよ。





## KARIGANE GALLERY

かりがねギャラリー



Sさんは、「アトリエFuu」を利用されていますが、午後、「いこいの家」にいられて絵を描いています。Sさんは、鉛筆で下書きをして色鉛筆で色を塗ります。迷いのないすばやい手の動きで0.5ミリの線を重ねていきます。絵を描いている時、とても楽しそうです。ハミングが聞こえる時もあります。描き終えた後は、誇らしげで喜びに輝いています。今、昨年11月に皆と一緒にいった善光寺を描いています。完成が楽しみです。



## 実践発表会に参加して

法人アドバイザー 藤田 敏彦

かりがね福祉会の9職場の実践発表を聞かせていただいた。それぞれの発表についてコメントや感想を述べよということだったが、障害をお持ちの皆様への支援については門外漢なので、学ばせていただくことの多い一日だった。

発表会から2か月近くが経とうとしており、個々の事業所の発表は少しずつ記憶が薄れて行くが、今なお印象に残り Fuuにお邪魔するたびに考えることは、「私たちにやるべき仕事があるはずだ」という視点を見失わないでいたいということである。スタッフはもちろん、利用者さんについてもそれはまったく同様である。

仕事の意味は、いわゆる労働だけではなく、果たすべき役割や振る舞い、呼びかけに応える責任という意味である。

そのことで思い出したのが、昔、重症心身障害者と言われる皆さんの在宅訪問をしていた時、全介助で自力ではほとんど何一つできない重い障害者の方でも、おむつ

を交換する際に、なんとか、お尻を持ち上げようとする方がいらっしゃるという話を聞いたことだった。私たちは、どんな状況に置かれても、果たすべき役割、あるいは果たすことができる役割があるんだ、多くの事業所の発表の中にそのことが窺えた、それが今回の発表会の私の一番の感想である。



# 社会福祉法人 かりがね福社会 2010年度 会計報告

## 資金収支計算書 自 平成22年4月1日 ~ 至 平成23年3月31日

勘定科目		予算	決算	差異
就労支援事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	5,202,000	5,426,506	224,506
	就労支援事業収入計 (1)	5,202,000	5,426,506	224,506
	支出			
	就労支援事業支出	5,695,000	5,524,101	-170,899
	就労支援事業支出計 (2)	5,695,000	5,524,101	-170,899
	就労支援事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	-493,000	-97,595	395,405
経常活動による支出	自立支援費収入	529,381,000	532,190,823	2,809,823
	事業収入	32,743,000	32,846,574	103,574
	寄附金収入	11,200,000	11,267,182	67,182
	雑収入	10,434,000	10,630,305	196,305
	受取利息配当金収入	88,000	113,892	25,892
	会計単位間繰入金収入	31,654,000	31,652,443	-1,557
	経理区分間繰入金収入	22,300,000	22,300,000	0
	補助事業等収入	37,243,000	38,735,516	1,492,516
	経常収入計 (4)	675,043,000	679,736,735	4,693,735
	人件費支出	418,165,000	411,766,208	-6,398,792
	事務費支出	66,312,000	58,419,212	-7,892,788
	事業費支出	75,315,000	67,866,741	-7,448,259
	借入金利息支出	1,003,000	976,472	-26,528
	経理区分間繰入金支出	22,300,000	22,300,000	0
	会計単位間繰入金支出	31,654,000	31,652,443	-1,557
	経常支出計 (5)	614,749,000	592,981,076	-21,767,924
	経常活動資金収支差額 (6)=(4)-(5)	60,294,000	86,755,659	26,461,659
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	79,963,000	79,963,000	0
	施設整備等収入計 (7)	79,963,000	79,963,000	0
	支出			
	固定資産取得支出	207,546,000	208,521,715	975,715
	施設整備等支出計 (8)	207,546,000	208,521,715	975,715
	施設整備等資金収支差額 (9)=(7)-(8)	-127,583,000	-128,558,715	-975,715
財務活動による収支	借入金収入	70,000,000	70,000,000	0
	積立預金取崩収入	15,000,000	15,000,000	0
	財務収入計 (10)	85,000,000	85,000,000	0
	借入金元金償還金支出	11,406,000	11,399,200	-6,800
	積立預金積立支出	2,000,000	2,000,000	0
	その他の支出	4,207,000	4,127,452	-79,548
	財務支出計 (11)	17,613,000	17,526,652	-86,348
	財務活動資金収支差額 (12)=(10)-(11)	67,387,000	67,473,348	86,348
	予備費 (13)	1,136,000	0	-1,136,000
	当期資金収支差額合計 (14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	-1,531,000	25,572,697	27,103,697
	前期末支払資金残高 (15)	204,058,304	204,058,304	0
	当期末支払資金残高 (14)+(15)	202,527,304	229,631,001	27,103,697

### 編集後記

今年は震災の影響で節電の夏となりましたが、皆さんはどのようなして暑さをしのいでいますか？

ODEKAKE探検隊でも紹介しましたが、ケアホームの皆さんは上田城公園にて歩行運動をされています。ご存じの通りケアホームの利用者さんたちは最重度の知的障害・発達障害をお持ちの方たちです。今までは危険だから、刺激になるからなどの理由であまり人気の多い場所での活動を避けてきました。

そんな心配とは裏腹に利用者さんたちは、いとも簡単にたくましく、楽しそうに上田城での歩行をやつてのけてしまいました。いかに私たちは利用者さんのことを理解できず、事故を心配しすぎるあまり利用者さんの可能性を潰してしまつていたということを感じました。

皆さんも失敗を恐れるあまり挑戦することを怠つてはいませんか？私はそのことを利用者さんから気付かされました。私たち支援者が努力することによって利用者さんの可能性をたくさん見つけていきたいと思います。

(小田切)

## 貸借対照表 平成23年3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	当年度	科目	当年度
流動資産	370,334,120	流動負債	157,046,353
現金預金	189,050,202	未払金	136,976,759
未収金	181,283,918	預り金	3,726,360
固定資産	628,315,333	賞与引当金	16,343,234
基本財産	473,154,215	固定負債	160,047,840
建物	397,333,652	設備資金借入金	131,855,400
土地	75,820,563	退職給与引当金	28,192,440
その他の固定資産	155,161,118	負債の部合計	317,094,193
建物	37,119,622	純資産の部	
構築物	158,299	基本金	47,503,983
機械及び装置	80,680	基本金	47,503,983
車輛運搬具	15,096,146	国庫補助金等特別積立金	194,909,809
器具及び備品	4,774,426	国庫補助金等特別積立金整備時	194,909,809
投資有価証券	20,000	その他の積立金	69,319,505
移行時特別積立預金	22,150,000	移行時特別積立金	22,150,000
人件費積立預金	5,000,000	人件費積立金	5,000,000
修繕費積立預金	6,700,000	修繕費積立金	6,700,000
備品等購入積立預金	8,500,000	備品等購入積立金	8,500,000
建設積立預金	22,462,505	建設積立金	22,462,505
霊園永代使用権	400,000	返済積立金	4,507,000
返済積立預金	4,507,000	次期繰越活動収支差額	369,821,963
その他の固定資産	28,192,440	次期繰越活動収支差額	369,821,963
		(うち当期活動収支差額)	39,396,343
		純資産の部合計	681,555,260
資産の部合計	998,649,453	負債及び純資産の部合計	998,649,453

脚注  
1. 減価償却費の累計額 231,848,751円  
2. 徴収不能引当金の額 0円

## 運営会員

会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

※敬称略させていただきます

### 寄贈物品

丸尾広大 三井京子 武重光恵 佐々木良子 内海洋子  
河辺昭男 山宮友生 小池美治 杉原弘 大久保直美  
堀内孝貴 吉野修通 柳沢仲治 阿部きよ子  
以上 テーブル 椅子 お菓子 牛乳パック お茶 野菜  
ウエス タオル他

### 寄付金

佐藤綾美 下田一子 中村彰 小林彰  
合計 323,350円

### 2010年度 運営会員ご入会者

(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

■長野県 小林彰 内海洋子 安藤善晴 秋山正春  
塚田弘人 宮崎正三 小林典子 大坪栄子 富岡信男  
尾澤友茂 福本敬子 手塚一敏 平野淑子 小林恵美子  
伊藤正子・優・瞳 小西葉子 月内けさみ 坂口祐紀

■東京都 谷本三恵子 女子学院 JG 会

■新潟県 丸山喜平 高橋良枝 ■石川県 宮元直樹

### 運営会費

(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

	会員数 (名)	会費 (円)
長野県	21	115,000
北海道	0	0
東北地方	0	0
関東地方	2	153,000
中部地方	0	0
北陸地方	3	25,000
近畿地方	0	0
中国地方	0	0
四国地方	0	0
九州地方	0	0
合計	26	293,000



今年もやります!

テーマ スマイル ～今こそ、笑顔をつなぐ時～

## かりがねフェスティバル

開催日 平成23年10月23日(日)

時間 10時～15時

場所 真田地域福祉センター

## 内容

ステージイベント(バンドやビンゴゲームなど)  
各事業所製品販売コーナー  
喫茶店やゲームコーナー 等々



みんなOIDEYO!!

ウキウキ

## 秋の“おでかけ出張ショップ”

## 9月10日(土) ふれあい広場inさなだ

■場所／上田市真田町長7190 『真田総合福祉センター』

■時間／9:00～15:00

OIDEYOハウスの田畑でとれた新鮮野菜と加工食品、竹炭製品も販売!かりがね福祉会の“アトリエFuu”&“ライフステージかりがね”も参加し、地元真田町を盛り上げます!!

## 10月 姉妹都市物産展in鎌倉(予定)

■場所／神奈川県鎌倉市小町1-10-5

『鎌倉生涯学習センター』

■昨年も出店した新居地“鎌倉”。今年も開催決定すれば参加しようと考えてます♪

## 11月5日(土) 女子学院バザー

■場所／東京都千代田区一番町22-10

『学校法人女子学院』

■時間／12:00～15:00

■昔からの交流を機に、かりがね福祉会として毎年出展させて頂いている“女子学院バザー”。関東地方にお住まいの方も、雷グッズを手にとるチャンス!OIDEYOハウスの新商品、竹炭入り化粧石鹸“真田の香”や竹炭入りコンニャクスポンジもショップに並びます。お楽しみに!

## 9月11日(日) ふれあい広場inうえだ

■場所／上田市上田原1640番地 『上田創造館』

■時間／10:00～14:00

■テーマ／A day in the life～つながるアート

■“ぼけっと”“なずな”“風の工房”と一緒に、アートをテーマに展示販売。『雷グッズ』『あおだま』のワークショップも開催しますヨ(※ワークショップのラストオーダーは13:00頃です。)

## 10月信州農林産物まつりin麻布(予定)

OIDEYOハウスは時々、地元から飛び出して販売会に出店。あなたの街でも出会えるかなあ—— o(\*≧ω≦\*)o♪

OIDEYOハウスでは、上記の出張ショップを企画しております。

詳細は、

OIDEYOハウス(販売担当:馬場)

☎0268-73-0005 まで

## 社会福祉法人かりがね福祉会本部

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1 ライフステージかりがね内 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406  
有線 2261 URL <http://www.karigane.or.jp/>

● 会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。

